

おまけページ(1) リクルート採用広告(1978~1982)

「集まれ前科者。」 「『C』が多くても、いいじゃないか。」

1978年から1982年にかけてナムコが出した採用広告は、冒険心に飛んだものだった。まだナムコがその知名度を確立していなかった当時、「学歴が高いかどうかではなく、好奇心旺盛で、ユニークな才能を持った社員を集めたい」という思いを込めて打ち出されたもの。逆説的ながら、求める社員像がストレートに伝わる内容で、広告業界でも高い評価を受けた。

なお、当時採用された社員のうち、石川祝男(1978年入社)は、1999年に常務取締役役に就任、AMカンパニーのプレジデントを経て、2005年4月、ナムコの副社長に就任した。ほかにも、そうそうたるメンバーが採用され、現在も要職を務めている。

集まれ前科者。

ユニークな動きをするおもちゃ、歌が聞えてくる図画い箱、おはじなどなんでもかんでも二人な資料の疑問から、父や兄が大切にしていた物を壊したり、分取したり、そのたびに叱られても、ドバイーを呼び出した時のような、創造の世界を垣間見る喜びに魅せられた「小さな前科」が増えていった日——あの頃の好奇心、思の山々大城にない想像力、創造性ある”遊び心”、未だこれない言葉を、**namco**に求めます。ロク既存に”思い遊びの空間”を創造し、子供にも夢を考えるために、企画・研究・開発をなく**namco**。 ”遊び”の重要さが隠れたら、すでに今日あるを予測し、20数年間情実を込めておもちゃを造りだすことで成り立っている新しい産業(子供や玩具に課税、それは否か)を旗手として、いま社員を求めています。

インパクトのあるキャッチコピーと写真でまず目を引き、その後、文章で募集意図を説明している。
1978年の「集まれ前科者。」の場合は、子供の頃に、玩具や腕時計を壊したり分解したりした「わたしの前科」を列挙し、「あの頃の好奇心、想像力、遊び心を失っていない若者を求めます」と、その思いを訴えている。

1978年

肉食は弱肉強食か、焼肉定食か。

肉食の強弱を争う。これは強弱、弱肉強食か、焼肉定食か。肉食の強弱を争う。これは強弱、弱肉強食か、焼肉定食か。肉食の強弱を争う。これは強弱、弱肉強食か、焼肉定食か。

1980年

「C」が多くても、いいじゃないか。

「C」が多くても、いいじゃないか。 「C」が多くても、いいじゃないか。 「C」が多くても、いいじゃないか。

1979年

ニヤームコのナムコ

ニヤームコのナムコ。ニヤームコのナムコ。ニヤームコのナムコ。ニヤームコのナムコ。

1982年

大学8年生にとどいた採用通知。

大学8年生にとどいた採用通知。大学8年生にとどいた採用通知。大学8年生にとどいた採用通知。

1981年